

# 「観光ビジョン実現プログラム2020」の概要

## これまでの経緯

- 平成28年3月30日、明日の日本を支える観光ビジョン構想会議（議長：内閣総理大臣）において、「明日の日本を支える観光ビジョン」を決定。  
訪日外国人旅行者数2020年4,000万人、2030年6,000万人等の新たな目標を設定。
- 「観光ビジョン実現プログラム」は、新たな観光ビジョン等を踏まえ、政府の今後1年を目途とした行動計画として、毎年、観光立国推進閣僚会議（主宰：内閣総理大臣）において決定。

## 概 要

- 昨年8月から本年6月にかけて、観光戦略実行推進会議（議長：内閣官房長官）を計6回開催。
- 会議における有識者の意見等を踏まえ、政府の今後1年を目途とした取組を「観光ビジョン実現プログラム2020」として、第13回観光立国推進閣僚会議（令和2年7月14日持ち回り開催）において決定。



# 「観光ビジョン実現プログラム2020」の概要

## I. 国内の観光需要の回復と観光関連産業の体質強化

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、観光需要が大幅に減少し、観光関連産業に深刻な影響が生じている。
- ・このため、まずは雇用の維持・事業の継続の支援に注力するとともに、反転攻勢に転じるための基盤を整備し、感染の状況等を見極めつつ、強力な国内需要の喚起策を講じ、国内観光の回復を図る。
- ・その上で、国・地域ごとの感染収束を見極め、誘客可能となった国等からインバウンドの回復を図る。

### 1. 雇用の維持と事業の継続に対する支援

- ・持続化給付金や家賃支援給付金の給付
  - ・実質無利子・無担保融資の制度拡充
  - ・雇用調整助成金の制度拡充
  - ・公租公課やNHK受信料等の猶予・減免
- 等

### 2. 反転攻勢に転じるための基盤の整備



宿泊施設の高付加価値化  
・生産性向上等



誘客多角化のための  
魅力的な滞在コンテンツ造成

- ・安全・安心に旅行できるよう、観光関連事業者に自ら作成した感染拡大予防ガイドラインの実施徹底を促す
- 等

### 3. 国内旅行の需要喚起

- ・「Go To トラベル事業」の実施による
    - ▶ 宿泊・日帰り旅行商品の割引
    - ▶ 地場の土産物店、飲食店、観光施設、交通機関等で幅広く使用できる地域共通クーポンの発行
  - ・新たな生活様式に沿った「新しい旅行スタイル」の普及
  - ・休暇取得の分散化、滞在型旅行の促進
  - ・国立公園等におけるワーケーションの推進
- 等

### 4. インバウンドの回復



日本政府観光局における  
航空会社等との共同広告



日本政府観光局による  
海外プロモーションの推進

等

# 「観光ビジョン実現プログラム2020」の概要

## Ⅱ. インバウンド促進に向け引き続き取り組む施策

・国内外の感染症の状況を十分に見極めつつ、インバウンドの再開に備え、これまで進めてきた受入環境整備や新たなコンテンツづくりに引き続き戦略的に取り組む。

### 外国人が楽しめる当たり前の受入環境整備



英語・中国語を含む多言語解説の整備



無料Wi-Fiの環境整備

### 地域の自然、気候、文化の魅力を生かした体験型アクティビティの充実



外国人のニーズに合った商品の開発・販路拡大



アドベンチャーツーリズムの推進

### 宿泊施設等の再生・活性化



政府系機関の投融資等による宿泊施設の再生・活性化

### 世界水準のスキーリゾート整備



国際競争力の高いスキーリゾートの形成

### 日本政府観光局の発信力強化



国立公園の大規模キャンペーン等

### 富裕層が満足できるコンテンツづくり



地域の伝統文化の体験等